

大阪・関西万博に向けた準備状況について

1 「大阪・関西万博」とくしま挙県一致協議会の開催

2025年「大阪・関西万博」に挙県一致で取り組むため、県内の産学官金労言、各界各層から参画いただく「とくしま挙県一致協議会」を設置しており、令和6年11月22日に「徳島県実施計画（案）」を議題とし、本協議会を開催した。

【徳島県実施計画（案）の概要】

(1) 第1章 全体計画

○大阪・関西万博概要、関西パビリオン概要

○実施計画ビジョン

- ・徳島県の産業技術やSDGs活動、観光・食・文化を国内外へ発信し、本県への人の流れを創出する
- ・次代を担う「子どもたち」が万博を通じ、未来社会の「夢や希望」を実感する



県民のいのち輝く「未来社会」をデザインし、
サステナブルな徳島の実現を目指す！

(2) 第2章 展示計画

- 徳島県ブース（県の魅力的なコンテンツが詰まった五感で体感できる常設展示）
- 徳島県ブース企画展（月ごとにテーマを設定した企画展示）

(3) 第3章 催事計画

- テーマウィーク（文化体験カフェとくしま）【R7.4.30(水)～5.3(土)】
- 自治体参加催事（阿波おどり）【R7.5.2(金)～5.3(土)】
- 関西パビリオン多目的エリア7月催事【R7.7.23(水)～7.28(月)】
- 関西パビリオン多目的エリア10月催事①【R7.10.8(水)～10.10(金)】
- 関西パビリオン多目的エリア10月催事②【R7.10.11(土)～10.13(月)】

(4) 第4章 徳島まるごとパビリオン計画

- 教育旅行における入場チケット支援、万博キャラバン
- 万博国際交流プログラム
- 誘客施策（交通料金割引）
- 広報施策（①情報発信、②プロモーション） 等

2 万博に向けた主なスケジュール

令和6年11月～	徳島県実施計画の実行 徳島県ブースの整備着手
令和7年1月頃	徳島県ブースアテンダント内定者決定
3月頃	展示・内装工事の完了、徳島県ブース内覧会
4月～	万博開幕



©Expo 2025

阿波の国・再発見
～サステナブルな徳島の実現を目指して～

2025年大阪・関西万博 徳島県実施計画（案）

2024年11月



はじめに

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、半世紀ぶりに大阪で開催される「2025年大阪・関西万博」の開幕まで、残すところ、約5ヵ月となりました。

会場の「大阪・夢洲」では、着々と各パビリオンの建設が進んでおり、10月には、徳島県ブースが入る「関西パビリオン」が竣工、「水とおどる」をテーマとした徳島県ブースの整備に着手しております。

この度、阿波藍、阿波指物、阿波和紙で彩る、徳島県ブースの空間デザインや展示内容、徳島の自然や観光資源を体感いただく映像コンテンツをはじめ、会場全体を多様な“踊りの輪”に観客を巻き込む「阿波おどり」、万博のテーマウィークと合わせて徳島の“文化と食”を体感いただく「文化体験カフェ」、また、市町村とともに夏の観光コンテンツや体験コンテンツを紹介する「なつやすみイベント」、チャレンジメッセと連携した県内企業の産業技術の情報発信、万博のフィナーレ直前には、徳島の若者が万博のプロデューサーとの交流を経て、未来を語る「プレゼンテーション大会」の開催に取り組んで参ります。

さらに、万博を契機とした観光誘客とプロモーション、県内の子どもたちに万博で学んでいただく教育旅行支援などを「徳島県実施計画（案）」として取りまとめました。

世界中から大阪・関西万博に訪れる2,820万人に、美しい自然、歴史を持つ「阿波の国、徳島の魅力」を再発見いただくことで、徳島への「人の流れ」を創出し、「サステナブルな徳島の実現」を目指して参ります。

目次

第1章 全体計画	1 大阪・関西万博の全体概要	P4
	2 関西パビリオンの概要	P5
	3 徳島県実施計画・ビジョン	P6
第2章 展示計画	4 徳島県ブース	P8
	5 徳島県ブース企画展	P10
第3章 催事計画	6 阿波の国とくしま つむぐCAFE(テーマウィーク)	P12
	7 多様性が織りなす踊りの輪「徳島の阿波おどり」	P14
	8 関西パビリオン多目的エリア7月催事	P15
	9 関西パビリオン多目的エリア10月催事①	P16
	10 関西パビリオン多目的エリア10月催事②	P17
	11 教育旅行入場チケット支援・万博キャラバン	P19
第4章 徳島まるごと パビリオン計画	12 万博国際交流プログラム	P20
	13 誘客施策	P21
	14 ポータルサイト・SNS広報	P22
	15 認知度向上・魅力発信プロモーション	P23
	16 協賛制度	P24
	17 TEAM EXPO 2025プログラム	P25
	18 その他関連施策	P27



第1章 全体計画

1	大阪・関西万博の全体概要	P4
2	関西パビリオンの概要	P5
3	徳島県実施計画・ビジョン	P6

1. 大阪・関西万博の全体概要

名 称：2025年日本国際博覧会
(略称：大阪・関西万博)

テ ー マ：いのち輝く未来社会のデザイン

サブ テ ー マ：Saving Lives (いのちを救う)
Empowering Lives (いのちに力を与える)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)

コ ン セ プ ト：People's Living Lab (未来社会の実験場)

会 場：夢洲(ゆめしま) (大阪府大阪市此花区)

開 催 期 間：2025年4月13日(日)～10月13日(月・祝) (184日間)

想定来場者数：約2,820万人

参 加 国 数：161カ国 (2024年11月現在)



(提供:2025年日本国際博覧会協会)



(提供:2025年日本国際博覧会協会)



(提供:2025年日本国際博覧会協会)

2. 関西パビリオンの概要

名 称：関西パビリオン

テーマ：いのち輝く関西悠久の歴史と現在

めざすもの：「地域に息づく「いのち」と未来へと続く「いのち」の発信」
「関西各地へのゲートウェイ」

位置：東通り北側（右図参照）

出展の主体：関西広域連合（※）

出展参加府県：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、
鳥取県、徳島県、福井県、三重県

基本構成：①関西全体を表現する展示エリア
②出展参加府県による独自展示エリア（8府県）
③WEBパビリオン

開館時間：9:15～21:00（予定）

※関西広域連合構成府県市：

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、
和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、
堺市、神戸市

※福井県・三重県も関西広域連合の連携団体として参加



（提供：2025年日本国際博覧会協会）



（提供：関西広域連合）

徳島県展示スペース
徳島県ブース 126㎡

3. 徳島県実施計画・ビジョン

目 的

徳島県の産業技術やSDGs活動、魅力ある観光・食・文化を国内外へ発信し、
本県への「人の流れ」を創出するとともに、次代を担う「子どもたち」が万博を通じ、
未来社会への「夢や希望」を実感してもらう！

取組のコンセプト

万博は「ゲートウェイ」、徳島「まるごとパビリオン」
～ 県民が参画し、県民が創る万博 ～

万博会場を本県へのゲートウェイ（玄関口）とし、魅力的なコンテンツにあふれる徳島県全域を「まるごと」パビリオン（展示館）と見立て、多くの方にご来県いただくとともに、県民の皆様と一緒に万博を創り上げて行きたい、という思いを込めています。

目指す姿

県民のいのち輝く「徳島の未来社会」をデザインし、
あらゆる“いのち”が巡るサステナブルな徳島の実現を目指す！

第2章 展示計画

4	徳島県ブース	P8
5	徳島県ブース企画展	P10

4. 徳島県ブース (1/2)

目的

徳島ブランドのプロモーションと徳島への「人の流れ」を創出するため、徳島県の魅力的なコンテンツが詰まった“五感”で体感できるブース出展を行う！

内容

【テーマ】 水とおどる

四国山地に降る雨が、吉野川をはじめとする大小の河川となり、徳島の暮らしを支えてきました。「水の流れ」は時に台風により氾濫を起こしましたが、徳島の人々は立ちすくむことなく、洪水が運んできた土砂を藍染料「すくも」づくりに上手に利用します。

このようにして、しなやかに困難な状況を受け入れ利用することで、「新たな価値へと変えていく」徳島の有り様は、阿波おどりの「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らな損々」という掛け声からも感じられます。

こうした「水の流れ」と合わせ、徳島の有り様を「水とおどる」と表現し、空間デザインのテーマとしました。

【日程】 2025年4月13日(日)～10月13日(月・祝)

【場所】 関西パビリオン内（大阪府大阪市此花区）

- ・「藍色」を中心とした青色をキーカラーに、壁面や展示エリアには、徳島県の伝統工芸である「藍染」や「阿波和紙」、「阿波指物」等を使用。
- ・また実写映像及びCG等のデジタル技術を用いて構築された、ブースの来場者に徳島観光の仮想体験を提供する「バーチャル観光コンテンツ」を展開。
- ・ブースには、徳島の魅力を伝え、徳島ならではの「おもてなし」を提供するアテンダントを配置。



今後の取組

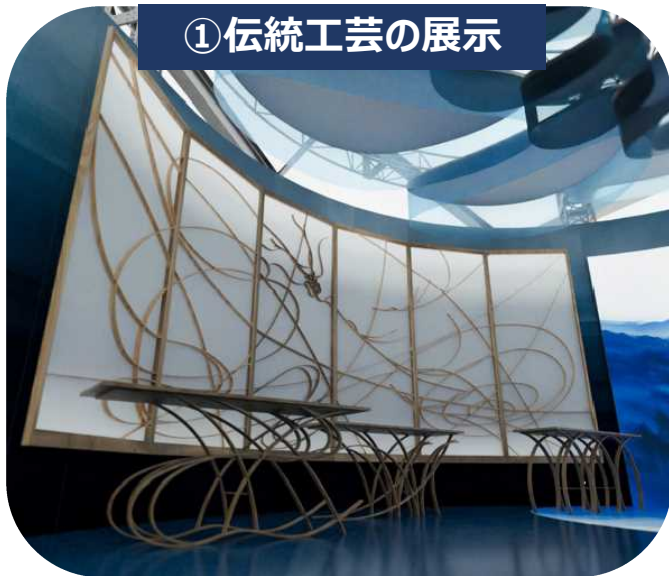
展示物はレガシーとして県有施設で再利用！

4. 徳島県ブース (2/2)

イメージ

- ・阿波指物の障子、什器を設置
- ・壁面は藍染め阿波和紙を使用
- ・そのほか徳島の伝統工芸品を展示

① 伝統工芸の展示



- ・映像型の体験コンテンツを投影
- ・徳島の「自然」や「観光資源」を体感

② バーチャル観光エリア



- ・「水とおどる」に合わせ、藍色をキーカラーにした空間デザイン
- ・渦潮をモチーフにしたオブジェを設置

- ・未来に向けた展示エリア
- ・サステナブルな徳島を表現
- ・県民参加型パネル（襖からくり型）
- ・徳島にゆかりのあるヒト・企業の展示

③ 未来に向けた展示



5. 徳島県ブース企画展

目 的

徳島の魅力ある文化や伝統を世界に浸透させるため、徳島県ブースにおいて、「藍」や「食」、「文化・伝統」の魅力を五感で体感いただく企画展を行う！

内 容



【テーマ・日程】 阿波・徳島の旬を巡る

- 「食」—— 2025年6月（10日間程度）※7月～9月横断テーマ
豊かな自然に育まれた「県産の食材」のPR
- 「藍」—— 2025年7月（10日間程度）
世界に誇る「ジャパブルー・藍色」の伝統・継承
- 「阿波おどり」—— 2025年8月（10日間程度）
日本を代表する伝統芸能「阿波おどり」の魅力
- 「お遍路」—— 2025年9月（10日間程度）
世界に類を見ない巡礼文化「四国霊場八十八カ所」の発信



【場所】 関西パビリオン内「徳島県ブース」

ブース内の常設展示だけでは伝えきれない徳島県の伝統工芸や食、文化等の魅力を伝えるため、徳島県ブースにおいて、万博期間中（2025年6月～9月）に、徳島の旬に合わせたテーマを設定し、テーマごとに、徳島の魅力を五感で体感できる「企画展」を実施する。

食育推進全国大会（6月）や藍推進月間（7月）など、県内イベント等との連携も図り、来場者にとって心地よく魅力的な空間、楽しい時間を提供する。

今後の取組

企画展の成果は、徳島の魅力を体感できるレガシーとして引き継ぎ、更なる徳島の魅力発信を通じて、藍をはじめ、食、文化・伝統を国内外へ浸透させる！

第3章 催事計画

6	阿波の国とくしま つむぐCAFE(テーマウィーク)	P12
7	多様性が織りなす踊りの輪「徳島の阿波おどり」	P14
8	関西パビリオン多目的エリア7月催事	P15
9	関西パビリオン多目的エリア10月催事①	P16
10	関西パビリオン多目的エリア10月催事②	P17

6. 阿波の国とくしま つむぐCAFE (テーマウィーク) (1/2)

目的

くつろぎながら徳島の文化を体験、県産品の手触りや使い心地、美味しさ等を体験してもらうことで徳島ファンの拡大を図るため、テーマウィークに出展する！

内容



【テーマ】 紡がれ、つなげる、徳島の文化
「阿波の国とくしま つむぐCAFE」

【日時】 2025年4月30日(水)～5月3日(土・祝)
(設営:4月29日(火・祝)、撤去:5月4日(日・祝))
10:00～20:00 (予定)
※「未来への文化共創ウィーク」へ出展

【会場】 EXPOメッセ「WASSE」 北面2/6区画
屋内展示場 (飲食・物販可)

【内容】
「文化体験カフェ」をコンセプトに、「カフェ」・
「ギャラリー」・「交流スペース」で構成し、県産品を
積極的に活用することで、徳島の文化が溶け込む
日常空間を表現。
来場者に阿波人形浄瑠璃をはじめとした
徳島の伝統文化を体験いただくとともに、
県産品の使い心地、手触り、美味しさなどを感じながら
くつろげる“心地いい徳島”を提供する。

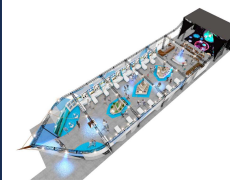
— 同フロア出展:和歌山県、香川県 —

WOW!WAKAYAMA!
～未来へつなぐ、おどろ“きの国”～

聖地
リゾート
Seichi Resort WAKAYAMA

和歌山で受け継がれてきた
“伝統産業の歴史や技術を
世界に発信！
未来に向けた産地の取組を
体感しに来ませんか？

香川県の古(いにしえ)・現代・未来を
コンセプトに県の魅力を発信する(仮)



瀬戸内海が多島美などの
豊かで美しい自然、さぬき
うどんに代表される豊かな
食文化、伝統文化、現代
アートといった香川県の
魅力を、古(いにしえ)と
現代・未来を体感できる演
出を加えた発信を行う。

今後の取組

テーマウィーク会場での体験を起点とした徳島への誘客につなげる！

6. 阿波の国とくしま つむぐCAFE（テーマウィーク） (2/2)

カフェ

- 海の幸と山の幸の共創！徳島の美味しさを詰め込んだ「つむぐプレート」や、日替わりスイーツ、地元ドリンク類を提供
- 「未来のAWA食人」ブースとして、県内若手料理人等を招き、「徳島の郷土料理や食材を新しい形で表現する」企画を実施
- 開発品等のテストマーケティングの場としても活用を検討

ギャラリー

- メイン展示として、400年の歴史を持つ「阿波人形浄瑠璃」と全国一の残存数を誇る農村舞台で用いられる「襖からくり」
- 「未来へつむぐ工芸」として、徳島で活躍する職人やクリエイターの技を見学できるコーナーを設置
- 伝統文化や伝統産業にまつわる品、カフェ関連商品等を展示・販売し、来場者の体験をお土産としても持ち帰ってもらう

交流スペース

- ステージを活用した伝統文化体験や出展者PR等の実施
- ワークショップを通じた伝統文化等への来場者の興味喚起



※現時点での出展イメージ

※テーマウィーク：8つのテーマに関連した地球規模の課題解決に向け、対話プログラムの他、テーマに沿った企画展示や体験イベントを実施、「いのち輝く未来社会」を世界と共に創造することを目的とした取組。

7. 多様性が織りなす踊りの輪「徳島の阿波おどり」

目 的

徳島の文化・宝である阿波おどりを世界中から集う万博来場者へ強く印象づけるとともに、未来に向けたさらなる発展・継承へと繋げるため、万博会場において、多様な踊りの輪を生み出し重ねることで、万博・世界に集う人々を一つに繋げる！

内 容



【テーマ】 世界が踊る日 ～多様性が織りなす踊りの輪 徳島の阿波おどり～

【日時】 2025年5月2日(金)、3日(土・祝)

【会場】 EXPOアリーナ「Matsuri」ほか
約16,000人収容規模／立ち見

【出演団体】

阿波おどり振興協会、徳島県阿波踊り協会、阿波おどり保存協会、
大学連（徳島大学、徳島文理大学、四国大学、鳴門教育大学）、
高校連（徳島商業高校、城西高校、鳴門高校）、
関西阿波おどり協会、海外連、公募連（達粋連、華舞遊）

〔合計人数〕 1日目：約320名 2日目：約700名

【プログラム】 1日目 17:30～19:30 前夜祭ステージ
2日目 13:30～19:00 ステージ・輪踊り
19:20～19:30 フィナーレ



1970年の大阪万博でも披露し、今や日本を代表する踊りとなった「阿波おどり」。
2025年大阪・関西万博の会場に設置される「大屋根リング」が象徴するように、
世界中から集う人々を一つに繋げる「輪」をコンセプトとして、多様な踊りの輪を生み出す。

この催事のフィナーレでは、出演団体の各鳴り物による「壮観な合同演奏」の下、
観客を巻き込む輪踊りを展開することで、会場全体での一体感の創出を目指す。

県内各地で開催される夏の阿波おどりへの国内外からの誘客増へと繋げるとともに、
阿波おどりの未来に向けたさらなる発展・継承へと繋げる！

今後の取組

8. 関西パビリオン多目的エリア7月催事

目的

徳島の夏季コンテンツのブランド化とシビックプライドの向上を図るため、市町村等と連携し、「夏休み」をテーマとしたイベントを実施する。

内容

【テーマ】 徳島のなつやすみ
海外や都会の人がイメージする（憧れる）“日本の田舎の夏休み”

【日時】 2025年7月23日(水)～28日(月)（設営日：22日(火)）
10:00～21:00（予定）

【会場】 関西パビリオン「多目的エリア」及び「屋外広場」
※屋外広場の利用は関西広域連合と調整中

【プログラム】

市町村・DMOが出展を希望する地域コンテンツの魅力を発信

- ウォーターアクティビティ 徳島でのマリン/リバースポーツを疑似体験できるフォトスポットを設置
- 自由研究プログラム スタッフによる解説を交え、遊びながら学べる「自由研究」を通して、徳島の文化や歴史を発信
- 飲食・物販ブース 県内各地の特色ある食材を使ったご当地グルメやお土産品などを販売し徳島の食の豊かさを発信
- 地域の魅力PRステージ 地域おこしに取り組む方々のPRトークや伝統芸能の上演などのパフォーマンスを実施
- 会場演出等 県内各地の伝統工芸品や特産品を活かしたライトアップで「縁日感」を演出
- SDGs ゴミ捨て体験 来場者のゴミ回収スペースを、SDGsを学ぶ体験ブースに



木工



藍染



郷土料理



ご当地ジェラート・サイダー



ご当地ジェラート・サイダー

今後の取組

8月以降の活発になる徳島県内のイベントや観光地への誘客を促進！

9. 関西パビリオン多目的エリア 10月催事①

目的

県内企業のテクノロジーや製品・サービスを国内外へ発信し、輸出拡大や取引促進につなげるため、県内の産業技術を発信するイベントを行う。

内容



(提供:関西広域連合)



【テーマ】 サステナブルな社会の実現に貢献する県内の産業技術の発信

【日時】 2025年10月8日(水)～10月10日(金)
10:00～17:00 (予定)

【会場】 関西パビリオン「多目的エリア」

【プログラム】

大阪・関西万博のテーマウィークの「SDGs+Beyond」に合わせ、宇宙やフードテックなどをテーマとして、来場者が本県のテクノロジーや製品に触れ、未来を体感できるイベントや物販、パネルディスカッションを開催する。

(※「徳島ビジネスチャレンジメッセ」との連携)

- ① 県内企業の食やテクノロジーに関する物販・展示
- ② フードテック企業プレゼンテーション
- ③ ISTS徳島大会登壇者と語る宇宙やディープテックに関するパネルディスカッション
- ④ 未来体感イベント
- ⑤ 次世代産業人材育成プログラム「学生成果発表会」



今後の取組

万博での展示・商談で得られたネットワークを活用した県内企業の事業拡大を支援！

10. 関西パビリオン多目的エリア 10月催事②

目的

内容

徳島の未来を担う人材を育成するために、大阪・関西万博のテーマ事業プロデューサーと連携した「若者主体のプレゼンテーション大会」及び「若者主体の徳島の魅力発信ステージ」を開催する。

【1】徳島の若者によるプレゼンテーション大会

「徳島の未来を担う若者」が万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」のバトンを受け継ぎ、未来に向けた自らのアイデアや考えをプレゼンする「徳島の若者によるプレゼンテーション大会」を開催する。さらに万博のテーマを体現する「シグネチャーパビリオン」を主導する「テーマ事業プロデューサー」8名のうち3名が「スペシャルナビゲーター」として本プレゼン大会へ参画。

- (1) 日 時：2025年10月11日(土)、12日(日) 10:00～18:00（予定）
- (2) 会 場：関西パビリオン「多目的エリア」
- (3) プレゼンテーマ：①メインテーマ「わたしたちが描く、いのち輝く未来社会～2050年への設計図～」
②サブテーマ「各プロデューサー（スペシャルナビゲーター）が万博で担当するテーマ」
- (4) 対 象 者：①徳島県在住、出身又は徳島県にゆかりのある者
②2025年4月1日時点で15歳以上24歳以下の者

(5) 大会の流れ：

①「スペシャルナビゲーター」招聘講演会

- ・2024年12月5日(木) 福岡 伸一氏
- ・2025年1月11日(土) 中島 さち子氏
- ・2025年2月17日(月) 小山 薫堂氏

②登壇者対象のプレゼン内容磨き上げプログラム

- ・「スペシャルナビゲーター」の事前アドバイス
- ・シグネチャーパビリオンの訪問 等

③プレゼンテーション大会本番

- ・「スペシャルナビゲーター」による審査・講評

スペシャルナビゲーター



福岡伸一氏 担当テーマ「いのちを知る」

- ◆ シグネチャーパビリオン：いのち動的平衡館
- ◆ 生命系全体の中にある私たちのいのちのあり方を確認する。



中島さちこ氏 担当テーマ「いのちを高める」

- ◆ シグネチャーパビリオン：いのち遊び場 クラゲ館
- ◆ 遊びや学び、スポーツや芸術を通して、生きる喜びや楽しさを感じ、ともにいのちを高めていく共創の場を創出する。



小山薫堂氏 担当テーマ「いのちをつむぐ」

- ◆ シグネチャーパビリオン名：EARTH MART
- ◆ 自然と文化、人と人とを紡ぐ「食べる」という行為の価値を考え、日本の食文化の根幹にある「いただきます」という精神を発信する。

【2】「徳島の魅力発信ステージ」の開催

徳島の若者が徳島の万博関係者とともに本県の万博での取組を集大成的に披露する「徳島の魅力発信ステージ」を開催。

- (1) 日時：2025年10月13日(月・祝) 10:00～19:00（予定）
- (2) 会場：関西パビリオン「多目的エリア」

新たな交流の創出とイノベーションの種の醸成を行うとともに、徳島発の世界で活躍する人材の育成につなげる。

今後の取組

第4章 徳島まるごとパビリオン計画

11	教育旅行入場チケット支援・万博キャラバン	P19
12	万博国際交流プログラム	P20
13	誘客施策	P21
14	ポータルサイト・SNS広報	P22
15	認知度向上・魅力発信プロモーション	P23
16	協賛制度	P24
17	TEAM EXPO 2025プログラム	P25
18	その他関連施策	P27

11. 教育旅行入場チケット支援・万博キャラバン

目的

次代を担う「子どもたち」に、未来社会の「夢や希望」を実感するとともに、将来を考え、成長する機会を提供するため、教育旅行における入場料の支援を行う！

内容



(1)教育旅行における入場チケット支援

世界各国や各界のトップランナーが創出するアイデアや、SDGs達成への取組、最先端技術が集結する「大阪・関西万博」は、学校の中では経験できない学びが得られる絶好の場であり、徳島の未来を担う子どもたちに、新たな関心や学び、社会や自分の将来について考え、成長する機会を提供するため、万博への教育旅行における入場チケット料の支援を行う。

【支援対象】 県内の小学校・中学校・高校・特別支援学校・高等専門学校（1～3年生）うち希望する学校
※万博への教育旅行を検討している学校数 90校（2024年11月1日時点）

【支援方法】 学校の入場実績に基づき、（公社）2025年日本国際博覧会協会に入場料を支払う。

(2)未来を学び、未来を創る万博キャラバン事業（出前授業） ※2024年度の実施

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博を通じて子どもたちが未来社会について考え、将来の行動につなげていく機会になるよう、希望する学校に出前授業を実施。

【実施時期】 2024年10月から2025年3月まで

【支援対象】 (1)の支援対象と同様
※派遣学校数 42校（2024年11月1日時点）

【授業内容】 万博全体の紹介、徳島県の万博に向けた取組紹介、ワークショップ



今後の取組

万博での経験を生かし、未来社会やSDGsに関する学習活動を展開していく。

12. 万博国際交流プログラム

目 的

「2025年大阪・関西万博」参加国・地域の関係者と地域住民との交流により、地域の課題解決や活性化を図るため、国際交流に取り組む自治体を支援する！

内 容



○万博国際交流プログラム（内閣官房事業）

万博の理念や共通の地域課題等への理解を深めるための事前学習を含め、地方公共団体が交流相手国と実施する事業に対し、継続的な交流を行っていくための支援を行うもの。

○令和6年度実施事業（登録自治体×交流相手国）

- 上勝町×ナイジェリア：視察団を招聘した町内での文化交流や意見交換を実施することで、ごみ問題等の双方の課題解決を目指す。



・相手国関係者を招いた交流会の開催

- 松茂町×ガーナ：中島さち子氏と連携し、STEAM教育の推進及びごみアートを通じた環境教育や文化交流イベントを開催。



・ワークショップを開催、マツシゲート学園祭において成果発表を実施

- 上板町×ヨルダン：エシカル消費を学ぶ小学校児童とヨルダンの子どもたちが共通の伝統産業である藍染を通じた交流を実施する。また、藍染や食をテーマに交流イベントを開催する。



・オンラインでの相互学習、藍染作品の製作等に取り組む

○「2025年大阪・関西万博」会場における交流支援

- ・各交流相手国ナショナルデーにおける情報発信や国際交流の成果発表会等の実施



今後の取組

万博を契機として生まれた国際交流を継続的な交流につなげる！

13. 誘客施策

目的

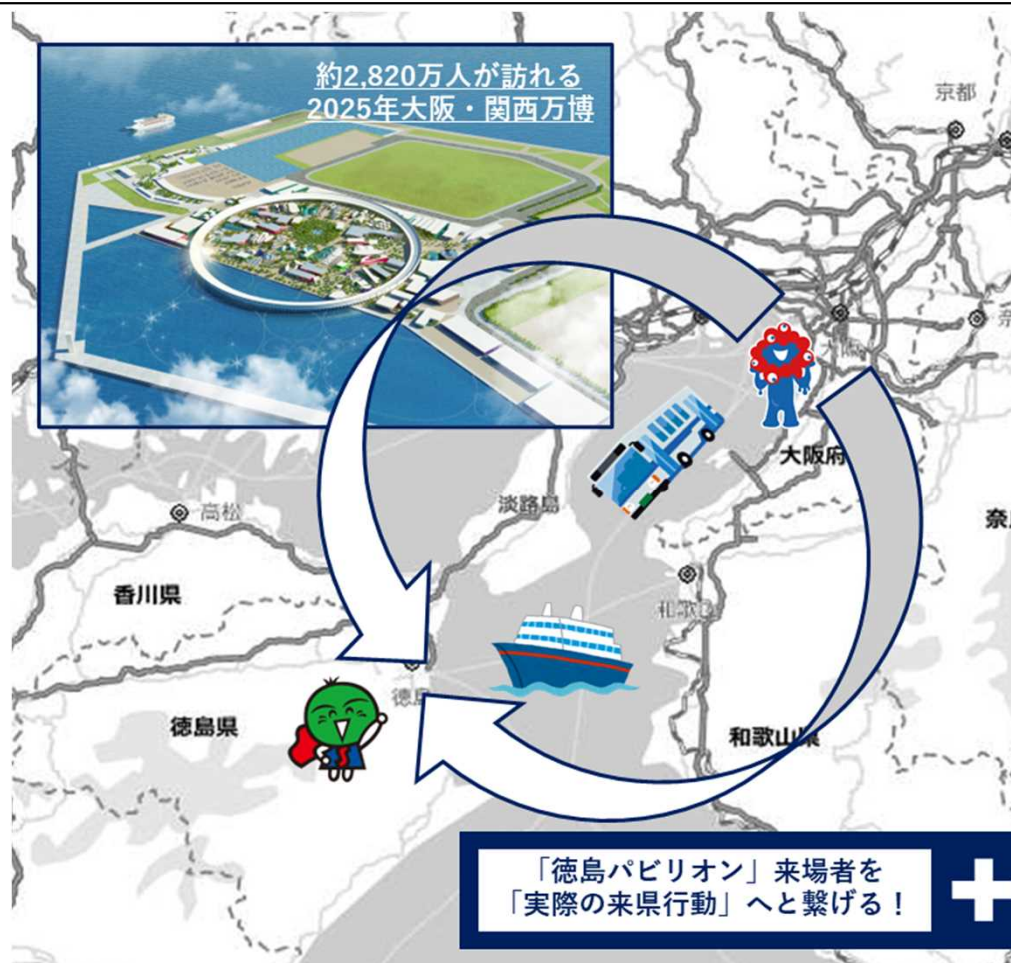
2025年大阪・関西万博を契機とした徳島への誘客を促進するため、関西地域と徳島県を繋ぐ「高速バス及びフェリー料金割引」を実施する！

内容

2025年大阪・関西万博

徳島県に比較的近い場所に世界中から
多人数が長期間集まる千載一遇の機会

万博会場に設置する「徳島パビリオン」の
来場者等に対し、関西地域から徳島へ
アクセスするための交通料金を割引する
とともに、当該インセンティブを積極的かつ
効果的に周知する。



今後の取組

万博を契機とした新たな徳島ファン・リピーターの創出へと繋げる！

14. ポータルサイト・SNS広報

目的

万博に関する取組効果を最大化させるため、ポータルサイトとSNSを活用し、積極的に・タイムリーに・丁寧に情報発信を行う！

内容



徳島県の万博への取組や徳島県の魅力あるコンテンツについて、情報発信を行うことで、万博への機運醸成を図るとともに、徳島県への「人の流れ」を創出する。

「会期前は積極的に」「会期中はタイムリーに」「会期後は丁寧に」

今ある広報ツールを最大限活用するとともに、関係機関と連携し、県民の方はもとより、県外の方や海外の方に向けて、積極的に広報を行う。

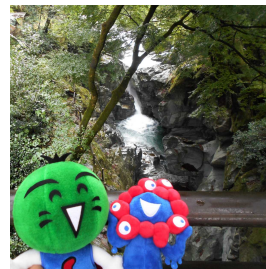
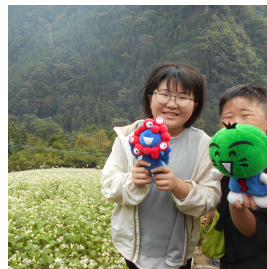
- 徳島まるごとパビリオンポータルサイト ※6カ国語対応
(<https://marugotopavilion.pref.tokushima.lg.jp/>)



←ポータルサイト

- 徳島県万博推進課Instagram ※日本語に加え、英語でも発信
(<https://www.instagram.com/tokushima.expo2025/>)

Instagram→



室戸阿南海岸国定公園

今後の取組

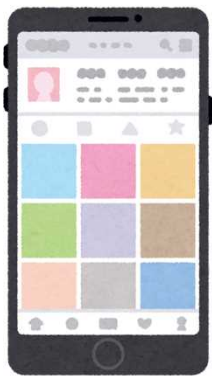
取組実績・効果をHPやSNSで随時発信し、更なる魅力発信につなげる！

15. 認知度向上・魅力発信プロモーション

目的

徳島特有の魅力を伝えることで、国内外に存在感を示し、徳島ファンを増やすため、効果的な魅力発信プロモーションを実施する！

内容



2025年大阪・関西万博において、関西圏において徳島県の認知度を向上させるとともに、万博会場の関西パビリオンに設置する「徳島県ブース」や「徳島県」への誘客を促進するため、魅力発信プロモーションを実施する。

① SNSを活用した情報発信

県万博推進課Instagram等を活用し、コンテンツの企画を行うとともに視聴広告も実施する。

② インフルエンサーマーケティング

YouTubeなどのインフルエンサーを活用した企画を行う。

③ 関西圏メディアタイアップ

関西圏のテレビなどのメディアとタイアップした情報発信を実施する。

④ オフライン広告

電車広告等の屋外広告のプランを企画し実施する。

【発信内容】 大阪・関西万博、食育推進全国大会、ISTSにおける徳島県の取組等

今後の取組

万博で人気を得た徳島県の魅力あるコンテンツを中心に徳島のブランドイメージを確定させ、今後の魅力度ランキングの上昇につなげる！

16. 協賛制度

目的

県内外の企業・団体・個人が、徳島県の万博へのプロセス自体に参画し、万博への機運を醸成する。

内容



Tokushima
Marugoto
Pavillion
Partner

官民連携により、大阪・関西万博に向けた取組を推進するため、「県民が参画し、県民が創る万博」をコンセプトに、「徳島まるごとパビリオン協賛制度」を創設。

【対象者】 協賛を希望する企業、団体又は個人であること。所在地や住所は問いません。

【協賛の方法】・協賛金の納付（1万円以上）
・物品の貸与及び役務の提供（原則として、市場価格に換算し100万円以上）

【募集期間】 2024年3月14日(木)～2025年10月13日(月・祝)（万博会期終了まで）

【協賛特典】 認定証の交付のほか、協賛規模に応じ、以下の特典を提供
（徳島県ブース内広告、各種催事会場内広告、県内行事広告、ポータルサイト掲載、呼称使用权、名称表示権）



【申込手続】 次のURLから申込み
<https://marugotopavilion.pref.tokushima.lg.jp/sponsorship/>

今後の取組

官民連携による県民サービス・イベントの実施

17. TEAM EXPO 2025プログラム (1/2)

目的

持続可能な社会を次代に引き継ぐため、2030年のSDGs達成目標年に向けて取組可能な事例を共有し、具体的に行動する！

内容

つくろう。みんなで。EXPO 2025 TEAM EXPO 2025:誰もが参画できる万博の新しいカタチ

社会課題の解決やSDGsの達成に向けた活動、世界に向けて取組を発信したい企業など、自分たちがワクワクする未来に向けたアクションを共に創っていく**参加型プログラム**

「万博を創ることは、未来を少しでも良いものにしていく」という本プログラムの活動をより多くの方に伝え、参加者を増やし、**共創の輪**を広げていくことにもつなげていきます。

共創チャレンジ

社会課題の解決やSDGsの達成に向けた活動、未来へのつながりを作るものなど、自分たちがワクワクする未来のためのアクション。

共創パートナー

ネットワーク、フィールド、情報発信などの提供により、多様な共創チャレンジの創出・支援をする法人・団体

※実施主体:2025年日本国際博覧会協会



TEAM EXPO 2025は、誰もが参画できる万博の新しいカタチ

「TEAM EXPO 2025」プログラムは、様々な人たちがチームとなり、多彩なチームと活動で万博と、その先の未来に接する機会が広がる参加型プログラムです。

登録の方法
登録は、万博の公式ウェブサイト「EXPO 2025」から行えます。
登録には、参加費がかかります。登録料は、2025年日本国際博覧会協会が定めた登録料です。
登録料は、2025年日本国際博覧会協会が定めた登録料です。



EXPO 2025
2025年日本国際博覧会協会
EXPO 2025

今後の取組

徳島SDGsプラットフォームを核として、SDGs推進の輪を広げる！



17. TEAM EXPO 2025プログラム (2/2)

徳島県を活動地域とする共創チャレンジ 一覧

2024年11月1日時点

チーム名	活動	チーム名	活動
プラット・アート・プロジェクト	プラット・アート・プロジェクト	10代が考えるわかめプロジェクトチーム	10代が考えるわかめプロジェクト
特定非営利活動法人二と八	世界農業遺産PRプロジェクト	青空よもぎの『しみず』	あ、私にもできることがあるんだ。自分の可能性を育てること。
Tokushimaスポーツ・文化ツーリズム	Tokushimaスポーツ・文化ツーリズム	株式会社フジタ建設コンサルタント	フジタアドプトお遍路さん ～アドプトお遍路さんで美しい故郷を未来へつなげよう！～ FujitaCleanup Pilgrimage ~ Maintain our beautifulhometown through a cleanup pilgrimage! ~
アワガミファクトリー EXPO2025 PR部	アワガミファクトリー EXPO2025 PR	Setouchi Velo協議会	瀬戸内地域等を「サイクリングの推進エリア化」へ！ ～Setouchi Velo協議会～
地球楽園プロジェクト	地球楽園プロジェクト	山神果樹薬草園と浜田農園	3つの無価値物から有価値物へ 有機堆肥による地域循環
WakeUp! -徳島と世界をVRでつなぐ大学生プロジェクト-	VR徳島魅力ハッケン！～トキメキの体験を～	せとうち美術館ネットワーク	せとうち美術館ネットワークの深化・発展
KIZUNA	未来へ発信！阿波っ子輝くプロジェクト	Doingnow合同会社	阿波藍産コスメを継続させ、阿波藍産業のバトンを繋いでいきたい
長尾織布合名会社	長尾織布オープンファクトリー	KITE MITE MII 実行委員会	「KITE MITE MII とくしま。」オープンファクトリーで徳島に生まれ育まれたものづくりの現場を開放することで、徳島を盛り上げる！
株式会社Watanabe's	すくもプロジェクト	わいわい会	持続可能な地域課題ビジネス創出プロジェクト
屋雲万次郎EXPO2025	徳島県の文化と伝統を広める	「関西広域周遊バスツアー」検討会	地域密着！バスで楽々ローカル旅 ～関西広域周遊バスツアーで地域経済活性化を目指す～
海藻ラボ	海藻が人と海を豊かに、健康に。	山神果樹薬草園コミュニティ	山神果樹薬草園 交流を通して広がる地域活性
茶宝箱	プロジェクト茶宝箱	株式会社折兼	【Co-Design Challenge】未利用木竹材を活用した森林・地域を元気にするごみ箱

18. その他関連施策

県立博物館 資料展示「1970年からこんにちはー2025年大阪・関西万博に向けて」

【概要】県民の万博に対する興味や期待感を盛り上げるため、県立博物館 2 階中央ロビーにて、1970年大阪万博にまつわる資料展示や、2025年大阪・関西万博の情報発信を実施する。

【展示テーマと開催日程】

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| (1)「1970年大阪万博」の会場と展示館 | 2024年12月17日(火)～2025年1月13日(月・祝) |
| (2)「1970年大阪万博」のピクトグラム | 2025年1月15日(水)～2025年2月9日(日) |
| (3)「1970年大阪万博」の記念品 | 2025年2月11日(火・祝)～2025年3月9日(日) |
| (4)「2025年大阪・関西万博」への案内 | 2025年3月11日(火)～2025年3月30日(日) |



第20回食育推進全国大会in徳島

【概要】農林水産省が地方公共団体と共催で行う、「食育推進全国大会」の本県での開催が決定し、「サステナブルな食」「食を通じた健康づくり」「世界も視野に入れた徳島の食の魅力発信」をコンセプトに、楽しく学べる食育イベントなどを通して、食育に対する理解と実践を促進するとともに、本県ならではの「食」や「食文化」の魅力を県内外に発信することにより、5年後、10年後、未来を見据え、無限に広がる食の力を学び、体感できる大会を目指す。

【日程】2025年6月7日(土)、8日(日)

【会場】アスティとくしま



第35回宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS)

【概要】世界30カ国から300名以上、国内含め1,000名を超える宇宙分野の研究者や技術者等が一堂に会し、研究発表及び討論を行う国際学術会議「宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS)」が、2025年7月に徳島県で開催される。開催前年にあたる令和 6 年度からプレイベントなど多数の宇宙関連イベントを開催している。

【日程】2025年7月12日(土)～18日(金)

【会場】アスティとくしま



TOKUSHIMA
OSAKA, KANSAI

